

## 岡原小学校で 児童農園の田植え

岡原小学校の5年生29人のみなさんが、JAくま青壮年部あさぎり支部岡原班の協力をいただいて、7月7日雨の中、学校田10aで、田植えをしました。普通米ともち米を半分ずつ、今は少なくなつた、手植えでの田植え体験です。どろだらけになりながらも、大喜びの様子でした。

11億9860万を補正	2～3P
町税条例を改正	3P
町政をたぐす	4～10P
活発な意見交換（議会報告会）	10P
常任委員会とう報告	11～12P
監査委員とうの選任同意	13P
全国正副議長研修会報告	13～14P
町の新しい風	15P
町民の声	16P

# 議会だより あさぎり

No.31  
H23.8.17発行



# 骨格予算へ肉付け（一般会計補正予算）

## 11億9860万7千円を追加し

## 総額 105億6175万7千円

第2回定例会が、6月15日から22日まで8日間の日程で開催され、3月定例会で一般会計当初予算が骨格予算であった事から、今回は肉付け的予算が補正予算として提案されました。また、一般質問に13名が登壇したほか、条例改正、監査委員、教育委員とうの選任が提案され、いずれも原案どおり可決されました。（P13に関連記事）

### 審議内容の抜粋

#### ・中学校開校準備

備品購入費 千九百一十八千円

#### 総務文教常任委員会所管

**問** 中学校統合後のスクールバスは、部活動の遠征等に対応できるのか。

**答** 運用規程を策定し運用する。スクールバス本来の運行に支障のない時間帯なら、部活動に限らず有効に活用していく。

#### ・財務諸表作成委託料

百八十一万三千元

**問** 財務諸表の説明と、その作成委託はどこにされるのか。

**答** これまで、決算統計で町の決算や財務の状況を公表してきたが、国の会計の改革により、これからは複式簿記で財務の状況を公表する事になる。委託先は、公認会計士事務所になる。

※財務諸表とは：町の財産・歳入・歳出とう、町の財政状況を表した表。

#### ・敬老会式典業務委託料

四百四十三万六千元

#### 厚生常任委員会所管

**問** 敬老会は七十歳以上が該当者と言う事だが、年齢の検討はされているのか。

**答** 今回までは、七十歳以上の方を対象として実施する。見直しの時期にきているとは感じているので、今後色々な方々と協議をしていく。



上永里地区の敬老会

・道路新設改良

補償鑑定委託料 五百万円

建設経済常任委員会所管

**問**

今後、今井中学校線改良に伴う事業費が距離の割に大変高額になるようだが、詳しく説明をしてほしい。

**答**

メートル当たりの単価が上がらないよう、当初の予定より幅員も一メートル狭く計画も見直している。ただ、百太郎溝に架かる橋にボックスカルバートを入れる必要があるので事業費も上がる事になる。



町道 今井中学校線

**条例改正**

あさぎり町税条例の一部を改正

東日本大震災で被災された方への税制上の支援措置  
あさぎり町国民健康保険条例の一部を改正

※国税の限度額 七十七万円

○基礎課税額

現行額五十万円が五十一万円

○後期高齢支援金等課税額

現行額十三万円が十四万円

○介護納付金課税額

現行額十万円が十二万円

※出産一時金 三十九万円

現行額三十五万円が三十九万円

(平成二十一年十月一日から二十三年三月三十一日まで、経過措置として既に三十九万円となっていたものを今回恒久的に条例化するもの)

◆6月定例議会議案表決一覧表 (抜粋)

議案名	議員名	岩水	永井	桑原	野中	奥田	豊永隆	洲田	愛甲	小見田	豊永喜	田原	皆越	樫山	浦本	溝口	久保田	宮原
専決処分した、平成22年度一般会計補正予算(第10号)の報告及び承認		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
定住促進条例の一部を改正する条例		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ごみ袋の指定に関する条例の一部を改正する条例		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成23年度一般会計補正予算(第1号)		×	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×
簡易水道事業特別会計補正予算(第1号)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
下水道事業特別会計補正予算(第1号)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
拡大生産者責任とデポジット制度の法制化を求める意見書		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

6 P  
社会福祉協議会の派遣職員は皆越てる子 議員  
職員の意識改革の取り組みは田原健一 議員

7 P  
河川や生活排水路の現状は永井英治 議員  
地域のゾーニングは奥田公人 議員

8 P  
須恵地区の町営住宅建設は岩水国昭 議員  
農業、農村振興の具体策は小見田和行 議員

9 P  
六次産業で町の発展を溝口峰男 議員  
高山にもみじ植栽を檜山 保 議員

10 P  
臨時交付金事業終了後の対応は久保田久男 議員

## 問 町長、副町長、教育長の報酬カットの取組みは

### 町長 行財政改革の中で検討する



町長 渕田 勇一 議員

**渕田** 二期目当選を祝す、現在の率直なお気持ちは。  
**町長** 町民の期待感と相手候補の得票の重みを大切に受け止めたい。  
**渕田** 一期目で努力された、町長・副町長・教育長の報酬カット、小学六年生までの医療費無料化について、二期目での取組みは。  
**町長** 報酬カットについては行財政改革の中で検討する。小学六年生までの医療費無料化は継続する。  
**渕田** 今期の課題で財政計画、防災計画の見直しがあると思うが。  
**町長** 健全財政確保のため行財政改革を軸に今後五十億円程度を目標に積立てたい。防災計画では自主防災組織強化に取り組みたい。  
**渕田** 中学校統合に向けた増築費は。  
**教育長** 八億三百万円に収めたい。



一般質問

## 問 起債と基金の総額は

企画財政課長

### 起債百三十二億八千万円 基金三十八億七千万円



宮原 盛幸 議員

**宮原** 起債の総額はいくらか。また総額と返済される額は違うはずだが。  
**企画財政課長** 一般会計の起債の残高は平成二十二年度末で百三十二億八千万円程度。  
**宮原** 起債の種類ごとの返済の額を示して欲しい。合併特例債、過疎債等は七割、臨時財政対策債は十割が交付税算入になっていると思うが。  
**企画財政課長** 九月にならないと確定しないが、概数で臨時財政対策債、合併特例債、過疎債は言われたとおりで、その他、公有林整備事業債、財源対策債、補正予算債といくつかの種類があるのでトータルで七〇%の交付税の算入がなされている。約

三割を町が償還財源として調達しなければならぬ。  
**宮原** 基金の総額は。  
**企画財政課長** 財政調整基金が二十億二千五百八十万円、その他を合わせて一般会計で三十八億七千三百六十八万円。  
**宮原** 合併特例債を活用した基金は十億円が丸のみ基金ではないと考えるし、三割を起債として扱うなら実質七億円が基金と思うが。  
**企画財政課長** 四億七千五百万円を合併特例債として借り入れ、二千五百万円を町が調達して二年間で十億円を基金として積み立てた。起債としては九億五千万円から償還済みの元金を引いたものにプラスしたその後の償還利子、それを後年度の地方債償還計画に入れこんでいる。



# 13名が登壇

特別職の報酬カットの取組みは  
瀧田勇一 議員

4 P

起債と基金の総額は  
宮原盛幸 議員

大震災後の町の財政運営は  
愛甲利孝 議員

5 P

前任期中約束を果たせなかった点は  
浦本秀正 議員



愛甲 利孝 議員

## 問 東日本大震災後の町の財政運営は

### 町長 第二次行財政改革プランを策定する

愛甲 大地震、大津波、そして原発の放射線もれ、一瞬にして、戦争にも匹敵するような大惨事がおきた。

町長は、三月の議会の中で、特別職の報酬アップの議案を提出した。町の財政状況、町民の生活状況等の中で本当にそれでよかったのか。

今は、この国難ともいわれる現実を直視して、執行部、議会が本当に真剣に知恵を出し合って、議論しなければならぬ時ではないか。

持続可能な財政運営が出来るような「新たな中・長期財政計画づくり」に取り組み、それを具体的に行動にうつす考えはないか。

町長 これまでも行財政改革のなかで、いろいろと取り組んできている。第二次行財政改革プランの策定を十二月までに実施したい。



せまくなっている登山口の駐車場

その他の質問

- ① 遠山桜まつり期間中の駐車スペースの問題
- ② 白髪岳登山者の駐車スペースの問題
- ③ 農地・水環境保全向上対策事業の今後の取り組み

## 問 四年間の任期中約束を

### 果たせなかった点は

#### 町長 高齢者や障がいを持った方々に

#### 政策を広げることが

浦本 四年間の任期を振り返り、重点取り組みとして町民に誓ったけれども約束が果たせなかった点があれば…。

町長 高齢者や障がいがある方々にもっと政策の手を広げるべきだったと反省している。

浦本 小学六年生までの医療費の無料化は当初一千万円程の増加との説明だったが、どんどん増加している。予測が甘かったのではないか。

町長 実際に医療費が増えているのでそうだと思う。

副町長 想定外の数値の伸びがあったことはいなめない。



みずき園のみなさん

浦本 給食センターへ他町村からの納入が多く町内の業者が制限されていると聞くが。

町長 その声は聞いている。町が運営している事業だから町内の方が優先的にやっても結構と思うが確認したい。

浦本 町で五社以上の企業誘致は大変な事業だが、一定の方向転換も必要な時期では。

町長 企業誘致はやりたい。今後は地元の素材など生かし雇用を生み出したい。

# 問 あさぎり町社会福祉協議会 の派遣職員は



皆越てる子 議員

## 町長 一步つめて検討している

**皆越** 今回社会福祉評議員として二回会議に出席し、事務局体制を見てみますと、町からの派遣職員の形をとっておられましたが、平成二十三年度の人事異動では、局長不在という事ですが今後の考え方を伺いたい。

**町長** 社会福祉協議会の会長は町長が兼務するという事になっておりまして、二番目の責任者が事務局長という事です。不在という状況で今済んでいるところですが、日常の業務については総務課長に一時的に業務を引継いで行っている。

**皆越** 近隣の状況を確認しますと以前は町村からの派遣職員の形をとっていましたが、最近では、



社会福祉協議会

プロパーの人が事務局で、つまり専門職の方ということでしたが、人材がないということですか。

**町長** 人事の案については、今もう一步つめてみたいなあというところで検討をしております。他の質問した内容

○町長・副町長・教育長の給与は

一般質問

# 問 職員の意識改革の

## 取り組みは

### 町長 研修等で図っていく



田原 健一 議員

**田原** 改革で一番大切なことは人の改革と考える。

**町長** 職員が自学自習の形で業務の効率化、地域活性化等の課題について意見を出し合い、提言する八つのワーキングチームによるグループワークを継続するとともに、問題が発生したときには速やかに現場に赴き、対処

する現場主義の浸透を引き続き図っていく。

**田原** 合併してから十年間の設置期限が平成二十五年三月三十一日に切れる地域審議会の方向付けは。

**町長** 残された期間は役割を果たしていただく。旧五ヶ町村が全体的に発展していくため、今後とも構成を継続して、地域ごとにそれぞれの活性化について検討答申していただきたい。

他の質問した内容

①職員提案制度の推進は

- ② 勤務評定の実情は
- ③ 行政区の統合は
- ④ 町立保育所の見直しは



グループ討議の様子



永井 英治 議員

# 問 河川や生活排水路の現状は

## 上下水道課長 県に要望し、各家庭に啓発していく



生活排水路の管理作業

**永井** 河川の土砂浚渫の状況は。

**建設課長** 建設課所管においては、きめ細かな臨時交付金事業等で浚渫工事を行い、県の河川は、町から河道掘削の要望をしている。

**永井** 下水道の普及に伴い生活排水路も随分ときれいになったが、今以上に下水道の接続率を上げるための対策は。

**上下水道課長** 下水道事業は二十七年度を工事完

了としているので、各家庭や事業所に接続を啓発していく。

**あさぎり光ブロードバンドサービスは**

**永井** あさぎり光の、インターネットのスピードが期待したように速くないと思うが。

**町長** 速度については機械的な部分で何とも申し上げられないが、ISDNから変更された利用者には評価をいただいている。

**永井** 利用料金の四千五百十五円は、妥当な値段か。

**副町長** 金額設定は、近隣町村とほぼ同額になっている。N T Tのサービスが届かない地域ではベストだと考えている。

# 問 地域のゾーニングは

## 町長 五つのゾーンで

## 進めたらいいと思う

**奥田** 「市街地ゾーンは免田駅周辺を中心とした国道二一九号線の市街地ゾーンで、商業の集積地

今後の中心市街地活性化の取り組みについて尋ねる。

である。この地域については中心市街地活性化事業等を活用しながら整備を進めていく」とあるが、あさぎり町が合併して早八年を経過した。ようやく中心市街地活性化事業と国道二一九号線改良事業等が実施されつつある。中心市街地活性化事業の工事の完了予定と、

**町長** 地域のゾーニングということで、合併をするにあたって、地域間の活性化の差とか、そういったものがないようにという思いを込めてゾーニングされて取り組まれた経緯があると認識している。

当初九つのゾーンに区分されておりまして。五つのゾーンくらいで進めたらいいと思う。

**商工観光課長** 駅前の整備事業については中心市街地活性化事業に取り組んでおり、平成二十一年から

二十五年度までの五年間の国庫補助事業で



あさぎり駅前

整備を行うこととしている。ハード的には二十五年年度の完了予定であり、あわせてソフト事業も行っていくという状況である。



岩水 国昭 議員

# 問 須恵地区の町営住宅建設は

**町長** 真剣に総合的に検討したい



須恵中運動場

**岩水** 須恵中学校廃校後の活用として、地区審議委員会答申のひとつとして、公営住宅の建設があり、又議会各常任委員会報告でも同じ報告があつております。そこで仮に運動場に建てた場合、三十戸前後の住宅建設が想定されるが、**建設課長** 数字上は二十六戸位は建つが、道路等もあるので、いくらか減ってくると思われる。



**岩水** 低価での宅地分譲も考えられるが、区画としての位か。

**建設課長** 四百平方メートル程度だと三十区画は可能ではないか。

**岩水** 須恵小学校は来年から複式学級も懸念され児童数の推移を見ると、入学児童は一桁です。須恵小学校複式学級回避、均衡ある町づくりを図るため須恵地区への町営住宅建設が望まれるが、**町長** 須恵中学校の跡地を、住宅建設等の答申書もいただいているので、真剣に総合的に検討したい。

# 問 農業、農村振興の具体策は

**町長** 付加価値と販売ルートの

構築展開を計る



小見田和行 議員

**小見田** TPP問題も再始動の兆しが見え、一方本年度から本格的に戸別所得補償がスタートするといった矛盾多き農政下、担い手の高齢化に伴い、少数の若手農業者に過度の負担をかけ、かろうじて集落の営農、社会の維持がなされている。所信表明にも農業の活性化を最重点課題として

取り組むとあるが、脆弱化していく生産基盤の活性化についてはどう考えておられるか。

**町長** 用排水路の整備も今後継続していく、機材の購入支援も議論を高めたい。また農産物の加工販売にも積極的に取り組みたい。

**小見田** 集落営農組織等を支援する組織（農業センター等）づくりにより一歩進む考えはないか。

**農林振興課長** 農作業受託においては、過去に農業公社の立ち上げも検討したが現在のところ個人

もいれ三十三の受託組織で何とかカバーしている。

他の質問した内容  
○あさぎり町地域新工  
ネルギービジョンは



集落営農生産組合の機械格納庫

# 問 六次産業の振興で町の発展を

商工観光課長

それぞれの事業を

一本化して振興を図る

**溝口** 太陽光発電システム普及拡大のために、各戸への設置に補助はできないか。

**町長** 民間で既に設置している状況調査と多良木町が二十万円を補助している

のでその効果を調べ、地場産業育成の観点もあわせ、次のステップを考える。

**溝口** 町の発展のカギは六次産業の振興にある。それぞれの組織で事業を展開しているが、その様な取り組みで効果が出るのか、アンテナショップ

でも郡市一体での取り組みをすべきだ。

**商工観光課長** 町と商工会の取り組みを一本化するため作業を進める。

**町長** アンテナショップは、郡市一体での取り組みに持って行く。

**溝口** 東日本大震災は、未曾有の大災害と

なり原子力災害をも誘発し深刻な状況は今も続いている。この事で国民の節電意識は高まり、電気なくして生活できないことを改めて感じている人は多いと思う。

町も自然エネルギー

を活用した「太陽光発電」を昨年五つの小学校に一億六千万円余をか



太陽光パネル(深田小学校)

け設置した。その後の効果と新設「あさぎり中学校」への設置はどの様に考えているのか。

**教育課長** 五ヶ月の平均で月当たり二十三万二千円余、電気料が節約できている。

**町長** 小学校同等近くの節減効果があれば設置の検討となる。

# 問 高山にもみじ植栽を

町長 踏み込んだ検討をする



樫山 保 議員

**樫山** 昨年三月定例会で一般質問をしたが、その後町長は高山について気にかけておられるので再度伺いたい。

**町長** 工夫することによって本当にもしろい箇所になるかもしれないと常々思っている。

**樫山** 高山は水源涵養保安林、保健保安林となっているが、取り扱いについて伺う。

**農林振興課長** 植林する場合にはその地域で生育し、かつ当該森林において的確な更新が可能である樹木であること。

**樫山** 記念植樹祭、記念行事等で植栽を行い、紅葉樹、黄葉樹も植え、高山の五合目付近はそのままにして六合目から八

合目位に黄葉樹を、九合目位に紅葉樹を植栽し信号機の色になって面白いと思っているが、山に対す

る国、県からの補助金について伺いたい。

**町長** 県と相談し検討させていただく。

**樫山** 平成二十五年度合併十周年という行事、又中学校統合により閉校記念行事として植栽についての考えは。

**町長** 踏み込んだ検討をして少し詰めてみたい。



高山(深田)

# 問 臨時交付金事業終了後 の今後の対応は

町長 協働の町づくりを検討したい



久保田 平成二十年から始った国の臨時交付金事業（二十一億九千六百万円）県からの基金事業（五億六千七百万円）経済対策・失業者対策上から一定の効果があり、町民の方から大変喜ばれている。反面、町への依存心が拡大してきたのでは



久保田久男 議員

一般質問

ないか懸念される。本年、いよいよ、最終年度を迎えるが今後の対応は。

町長 これまでやれなかった事業が今回やれたが、町でやること、町と地域で連携してやること、地域でやることをどうするか知恵を絞らなければならぬ。少しずつ、地域は自分たちでつくっていく、守っていく意識づけが必要となる協働の町づくりを今後、しっかりと検討をしていきたい。

他の質問した内容

○学校における情報整備・ICT・太陽光発電パネル設置事業は



活発な意見が出された報告会会場

あさぎり町議会では、初めての議会報告会を、七月五日、午後七時からポッポ一館で開催しました。町民の方三十五名の参加があり、議会議員十八名全員が参加して行

## 活発な意見交換 初の議会報告会

いました。

まず、議長から挨拶の中で、この報告会を開催するにいたった経緯と目的を説明しました。

そのあと、各常任委員会委員長、各特別委員会委員長より、現在調査検討している事項とその課題を報告しました。これをうけて、町民の方々から活発な質問・意見が出されました。「報告会開催にあたり、資料がないので、聞くばかりでは理解ができない」、「広報紙の町民の声には、以前は批判的な声も載せてあった」というような意見もあったところでした。

町民の方々よりだされました、貴重なご意見、ご提案に対しましては議会内部でさらに検討し、その結果は次の機会をとらえて報告していきます。

# 常任委員会等報告

## 町内四小学校を訪問

### 総務文教委員会

○六月二日、研究発表校の上小を除く本町の四小学校を訪問し、各学級の授業風景を視察し、施設の太陽光発電や電子黒板の活用頻度も高いようでした。



岡原小学校 習字の授業

○町税の徴収実績と対策の調査を行い、税務課より、県との連携や収納体制拡充により収納率向上との説明を受け、徴税全般の質疑を行いました。

○閉校後の中学校跡地活用の協議では、

- ・須恵中⇨町営住宅の建設や宅地分譲
- ・深田中⇨福祉施設
- ・岡原中⇨岡原小の移転
- ・免田中⇨教育委員会事務局や社会教育施設の意見に総務文教委員会として、集約しました。

## 拡大生産者責任等を求める意見書採択

### 厚生常任委員会

五月二十六日、本庁舎会議室「白髪岳」において開催。

三月定例会において付託されていた「拡大生産者責任(EPR)及びデポジット制度法制化を求める

意見書の採択」について審査。現在のような厳しい経済状況下での制度導入は時期尚早であるとの意見もありましたが、持続可能な循環型社会を築くためにはわが国の大量生産・大量消費、大量廃棄・大量リサイクル型の経済社会を見直し、廃棄物の発生抑制、再使用を優先する社会を築くことが必要であるとの認識から賛成多数で採択しました。



吉井リサイクルセンター

## 町有林等の現地調査

### 建設経済常任委員会

第一回を四月二十六日に開催

町有林・財産区有林の二十三年度事業現地調査を行った。財産区有林は二十一か所の伐採計画がされている。

第二回を五月二十六日に開催

流域下水道事業建設負担金について協議を行った。「流域町村の面積縮小等による負担金増は町民の理解を得られないので認められない」との意見で委員会は一致した。」

経済危機総合対策臨時交付金事業、緊急雇用創出事業は「二十三年度以降も継続する事業と廃止する事業を早い段階でそれぞれの事業者の方針を示すべきである。」

第三回を六月六日に開催

産業活性化基金活用事業の具体案について検討を行った。

## 議員定数・報酬を検討

### 議会改革調査特別委員会報告

第十七回を五月二日に開催

◎これまでの審議経過の確認について

◎議会中継運営方針について

・実際の運用を六月定例議会から実施する

第十八回を五月十二日に開催

◎資料要求があった案件について

◎六月定例議会での中間報告内容確認について

◎議会中継システム運用試験について

第十九回を六月二十日に開催

◎議会報告会の開催について

・七月五日、午後七時よりポツポツに於いて開催する

◎最終報告へ向けての今後の検討項目について

・各常任委員長、特別委員長、広報委員長より報告する

第二十回を七月一日に開催

◎議会報告会の運営について

◎最終報告へ向けての今後の検討項目について

・議会の議決すべき事件を定める条例について

・議員定数、報酬とうについて、  
通年議会制度について、執行部

の反問権の導入について、

いづれも

九月定例会に於いて議会の

結論を出す。



6月議会によりはじまった議会中継

## 校舎改修工事の進捗率10%

### 中学校開校準備調査 特別委員会報告

第十二回委員会を六月二十日開催した。教育委員会より現在までの進捗状況と六月定例会補正予算に関する説明を受けた。

①現在の校舎増築改修工事の進捗率は約10%弱である

②開校までいろいろな消耗品とが必要であり今回の補正予算に計上した

質疑の中では

①スクールバス運行計画について

②消耗品の種類とうについて

③通学路の整備とうについて

などがあり、それぞれ答弁を受け、閉会した。

# 統一選挙後の初議会

## 一部事務組合議会報告

### 球磨広域行政組合

○平成二十三年五月二十七日臨時会が開会(一日)

統一選挙で、半数の十五名が改選された後の初議会の為、先ず議席の指定が行われ、議席番号表の通り議席を指定。議会運営委員の選任・調査特別委員会の委員の選任後、議案十六号熊本県市町村総合事務組合規約の一部変更については原案の通り可決しました。

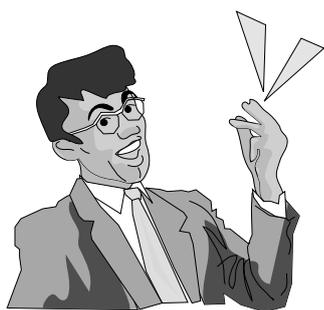
### 球磨郡公立多良木病院 企業団

平成二十三年第二回臨時会は、統一地方選挙後初めての議会という事で五月十九日に招集され会期一日で開催されました。改選に伴い、新たに多良木町より五名、水上村より二名が病院企業団議員となり、空席であった副議長に多良木町選出の中村正徳議員が選挙で当選されました。議会運営委員長

にあさぎり町選出の榎山保議員、副委員長に多良木町選出の久保田悦子議員が選任されました。議案については、全議案いずれも原案どおり同意、可決されました。

### 上球磨消防組合

第一回臨時議会が、六月九日開催された。多良木町、水上村の改選後初めての議会であり議長、副議長の選挙、監査委員の選任同意について行われ、結果は議長に小見田和行議員(あさぎり町)、副議長に坂本一郎議員(多良木町)、監査委員に森崎勝議員(湯前町)に決定しました。



# 監査委員・教育委員の選任同意



あさぎり町教育委員会委員  
酒井 孝則 (60歳)

住所：あさぎり町須恵 1614 番地



あさぎり町教育委員会委員  
桑原 茂和 (65歳)

住所：あさぎり町岡原北 768 番地



あさぎり町監査委員  
月足 茂則 (62歳)

住所：熊本市長嶺南 8 丁目 7 番 22 号

## 議会活動に活かす覚悟

### 全国正副議長研修会報告

議長 橋爪和彦



五月十七日～十八日に、東京メルパルクで開催された研修会に副議長と一緒に参加してきました。

初日、総務省自治財政局長椎川忍氏の「地域力創造と地域おこしのヒント」の題での講演から始まりました。

まず、「平成二十三年度地方財政について」説明があり、地域主権改革に沿った財源の充実に図るため地方交付税総額を〇・五兆円増額し十七・四兆円にして地方交付税の増額を

確保する他、一般財源総額を〇・一兆円増額して五十九・五兆円を確保したということです。

その上で、臨時財政対策債を一・五兆円大幅削減し、交付税特別会計借入金を二十三年～二十五年は一千億円、以後年一千億円ずつ増額し、三十三年以降は国の債務残高縮減の取組と歩調を合わせて、三十年間各年度一兆円を基本に償還して地方財政の健全化を目指すことです。

特別交付税制度については、算定方法を交付税

総額における特別交付税の割合を六%から四%に引き下げて普通交付税に移行することが決まっていたようですが、東日本大震災の影響で二十五年までは六%で据え置き、二十六年五%、二十七年以降に四%へと変更されました。特別交付税については、被災地に傾斜配分されることとその他の自治体は殆ど期待できないと感じました。その後、「地域力創造と公務員参加型地域おこしのススメ」、「分かりやすい緑

の分権改革」等についても駆足で説明を受けました。

午後は、牛山久仁彦明治大学教授が「町村議会だからできる」との題で、協働型議会について提言されました。

その後、同教授をコーディネーターに岩手、宮城、神奈川、鹿児島県の町議会議長をパネラーにシンポジウムが開かれ、勇気と熱意ある議会改革への取組を勉強しました。

二日目は、大森彌東京大学名誉教授が「二元代表制と議会の価値」、軍事アナリスト小川和久氏が「巨大地震・原子力事故と国家の危機管理」との演題で講演がありました。二日間の盛り沢山の研修で得た知識を、今後の議会活動に活かしていく覚悟です。

# 大震災の影響が

# 出てくると感じる

## 全国正副議長研修会報告 副議長 宮原盛幸



第三十六回町村議会議長、副議長研修会が五月十七、十八日の両日、東京メルクパルクホールで開催された。講演は総務省、自治財政局長椎川氏の「地域力創造と地域おこしのヒント」、東京大学名誉教授大森彌氏の「二元代表制と議会の価値」、特定非営利法人国際変動研究所理事長軍事アナリスト小川和久氏の「巨大地震、原子力事故と国家の危機管理」。またシンポジウムは「町村議会だからできる」をテーマに基調講演を明治大学政治

経済学部教授牛山久仁彦氏、そしてパネリストは四人の議会議長で行われた。

椎川氏は「緑の分権改革の進め方」の中で、地方から自分たちのライフスタイルや経済社会のシステムの変革を実践すべきと強調され、その実践に際しては国の規制の撤廃や新たな規制等が必要なきときには国に提案すべきであり、国は必要と考えられるものには国民の合意を形成した上で、法律改正等を実施すべきであると。要するに地域の自

給力と創造力を高める地域主権型社会の構築が必要と講演され、その具体例も示された。

大森氏はその講演の中で、二元代表制のあるべき姿を説明され、その必要性を説かれた。また平成の大合併が地方の活力を削いだ事も事実であり、これからは合併を無理して推進しないということであった。

牛山氏の基調講演は「住民と共に歩むこと」を制度化するためには、自治基本条例や議会基本条例など「基本的な方向性」

に関する条例化が必要であると話され、大都市議会では協働の限界があるのに対して町村議会では可能性が大きいということである。

「町村議会だからできる。」岩手県、宮城県、神奈川県、鹿児島県とそれぞれの自治体、議会の活動が紹介されたが、地域性があることはいうまでもない。最後に東日本大震災で特別交付税の傾斜配分の可能性があり得ると感じとった研修会であった。

# 町の新しい風



## 夏野菜に新しい仲間

チャーびら菜(別名:アマランサス)



チャーびら菜の収穫

### 特徴

- クセがなく、シャキシャキ感があり、おひたし、炒め物に最適
- 食べられる部分は葉の部分だけでなく、茎まで丸ごと美味しく食べられる
- 栄養価は夏野菜の中でも、とても優れている(鉄分、カルシウムが多く含まれている。)
- 地上部のみを収穫し、水洗い時間など料理に手間取りしない

### 料理一例

おひたし、炒め物、天ぷら、サラダ、ギョウザの具等。

チャーびら菜、ハゲイトウの仲間とされ、ヒユ科ヒユ属植物の総称で別名ジャワハウレン草と呼ばれ、原産地は南米やメキシコで、日本では沖縄県において栽培されています。

あさぎり町でも今年から3戸の農家がハウス栽培、郡市では8戸の農家でスタートされ、今後夏季野菜として期待されています。

穀物の中では蛋白質の含有量が多く、非常に栄養価が高く熱帯のハウレン草と言われています。健康食品としての雑穀米の中にも含まれており、葉もの野菜として夏季のみの期間限定として栽培、クセがなく、栄養価は夏野菜の中でもとても優れ、鉄分、カルシウムが多く含まれています。一回植えると3~4ヶ月の収穫期間が見込め、播種後2週間で定植し、3週間程度で収穫できるとのことです。



チャーびら菜ハウス栽培(収穫前)

## 議会ひとくちメモ 12

(町議会のことをお知らせするコーナー)

### 地方交付税とは

地方交付税とは、地域間の税源の不均衡を調整し、すべての自治体が一定水準の行政サービスを提供出来るようにするために、国税の一定割合が交付される交付金です。

この地方交付税には、普通交付税と特別交付税があります。交付原資の総額の内、九十四%が普通交付税、六%が特別交付税として自治体に交付されるのが原則です。

あさぎり町の平成二十二年度の地方交付税の総額は五十六億九千万円余にのぼり、歳入全体の四十六・八%になっています。(二十一年度最終補正予算)

この地方交付税制度が、国税の落ち込み、大震災の影響などで大きく揺らいでいるという懸念も出てきております。

# 町の声



上・平和  
矢神 活朗

## 魅力ある 産業づくり

現在私は、就農3年目になります。

高校卒業後から18年ぶりに戻って来た地元は、風景等自然の姿はあまり変わっていませんでしたが、あさぎり町という大きな町へ変わっていました。

しかし、大きくなった自治体とは裏腹に、人の数、特に子どもの激減ぶりには寂しいものを感じました。私もそうであった様に、人々が地元から離れていく理由として、地元、雇用、魅力を感じるものが少ない事が挙げられると思います。

そんな中、魅力作りの為に動いている方々も多くいます。私自身も出来る事として、農業を起点に様々な業種と連携し、次世代の子達にとっても、魅力ある産業作りに関わっていきたいと思っています。又、そういうものに対しての行政の支援策等も強く要望いたします。

毎朝庭のトマトに向かって「おいしくなーれ」と必死におまじないを掛けている娘を見る度に、氣勢が湧き上がって来る、今日この頃です。



岡原南  
住田 さとみ

## 子ども達が 奏でる美しい ハーモニー

『学童教室』ハーモニークラブは、町の福祉課・教育委員会・小学校・保育園のご協力のもと、平成21年4月8日に、岡原の保健センターをお借りして、小学生児童の見守りを始めました。

学童とは、労働などの事情により、昼間保護者が家庭にいない小学生の児童に対し、放課後や長期休暇中、保護者に代わって行う保育の場所です。子ども達は、学校から「ただいま」と元氣よく学童に帰って来て、宿題をすませ、おやつを食べ、遊びなどをして保護者のお迎えを待ちます。

私達の学童では、徳育の充実を目指し、健やかな心と体の健康を図っています。長期休暇では、群読(全員での暗唱)や、漢詩、論語も学び、折り紙、ウンスンカルタ、凧作り、凧揚げなどに、1年生から6年生約40人が取り組んでいます。これからも、子ども達が奏でる一つひとつの音が、美しいハーモニーになるよう指導員一同、日々努力していきたいと思っております。

## 編集後記

暑中お見舞い申し上げます。テレビ、新聞等で報道されています様に、熱中症対策にくれぐれも気をつけていただきたいと思います。

さて、六月定例議会で二十三年度の肉付け予算が決まり本格的にスタート致しました。その様な中で議会もいろいろと改革を進めながら取り組んでいるところです。

六月定例議会から議会中継システムの整備により支所等のテレビ中継、インターネット中継・録画配信、又、七月五日には町民の方々に議会活動を知ってもらうために議会報告会を開催致しました。

議会だよりでは要点のみの記載になりますが、できるだけ見やすい様に広報委員一同頑張っておりますので倍旧のご愛読頂きます様お願い申し上げます。(榎山)

### 編集・発行責任者

議長 橋爪和彦

### 広報調査特別委員会

委員長 愛甲利孝  
副委員長 皆越てる子  
委員 榎山 保  
委員 奥田 夫人  
委員 桑原 公  
委員 永井 武夫  
委員 英治

発行／あさぎり町議会 編集／議会広報調査特別委員会  
〒868-0422 熊本県球磨郡あさぎり町上北1855番地  
TEL(0966)47-0312・FAX(0966)47-0265  
E-mail: syoki-gikai@town.asagiri.lg.jp